

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	愛知県
取組市町村名 取組団体・企業名	J A 豊橋青年部会
取組の名称	食農教育開催～農を伝え農を育む～
実施時期	2025年：5/16、5/30、6/13、9/12、10/24、2026年：1/16
取組内容に該当する食育ピクトグラム（複数選択可）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
取組内容	<p>●対象者：豊橋中央高等学校</p> <p>●目的・内容</p> <p>食と農のスペシャリストとして、小学校での出前授業や農業イベントでの収穫体験など、長年多くの食農教育に取り組みましたが、「取組効果」や「野菜の適正価格への理解醸成」に課題を抱き、食農のターゲットを保護者や社会へはばたく高校生や大学生を対象として、農業の良いところだけでなく、本当の農業実態を伝えることを目的として実施しました。</p> <p>①5月16日：テーマ「食農」出前授業とディスカッション          ②5月30日：テーマ「触農」バケツ稲実習          ③6月13日：テーマ「食農」野菜の食べ比べ（生食・加工）          ④9月12日：テーマ「触農」キャベツ定植作業          ⑤10月24日：テーマ「触農」草取り作業          ⑥1月16日：豊橋中央高等学校発表</p> <p>●活動の成果、今後の課題</p> <p>出前授業に加えて農業体験することで、農業に対する考え方を大きく変え、回数を重ねるごとに農作物や農作業に対する理解が深まっていることが実感できました。</p> <p>今後の課題として、誰もが食農教育に取り組めるよう「食農授業マニュアル（対応手順・基準）」を作成する必要があると感じました。</p>

